

(2) 他教科・領域とのつながり

自分の興味のある事柄について調べ、英語で伝えるプレゼンテーションを実施します。その際、国語でのスピーチ作りの際に学習する文章構成の仕方と結びつけ、まとまりのあるプレゼンテーションにするにはどうすれば良いかを考えます。また、プレゼンテーションは、技術で学んだ提示用ソフトを使用し、それぞれの教科での学びを活用して授業を考えるようにします。

こんな実践

英文作りと英語を通したやり取りに焦点を当てて単元を構成し、英文同士のつながり(文章構成)と読み手に分かりやすい文章を意識したメモ作りに重点を置いて、他教科での学習を絡めて考えた実践です。

実践学校 I 中学校 (学級数：6 生徒数：210)
 実践学年 2 学年
 実践時期 9月～10月 ※Lesson については7月にスタート
 単元名 Let's Make a Presentation in English
 学習指導要領との関連 話すこと〔発表〕イ

- このレッスンでの Lesson Goal は、「自分の興味のあるものについて調べ、図・表やグラフなどを使いながら英語でプレゼンテーションしよう!」としました。

<単元展開の概要>

時	内容
1	クイズに答えながら、“比較”するというイメージをもつ。
2	健とメイリンの対話を読んだ上で、国の面積の大小について説明する。
3	メイリンとポールの対話を読んだ上で、面白い教科について対話する。
4	ネット上の投稿記事を読んだ上で、一番好きなもの・ことについて対話する。
5	通信手段についての説明を読んだ上で、詳細を理解する。
6	ペアで置き換え対話を行い、比較の表現に慣れる。
7	グループでメンバーを比べながら比較クイズを作る。
8	グループで作った比較クイズを出し合い、ウソの英文を見破る。
9	プレゼンテーションの企画・内容を考え構成する。
10	アンケートを作成したり、調べ学習をしたりし、プレゼン作成に備える。
11	スライドの作成(1時間目) 英文メモを作る。
12	スライドの作成(2時間目) 話の構成や発表内容の順序を考える。
13	友達と発表のリハーサルを行い、必要な修正を加える。
14	ALT にプレゼンテーションを発表する。

- 1学年・国語で学習した「スピーチをする」単元の目標の一つに、「話の構成や順序を工夫し、自分の伝えたいことを整理する」がありました。これを授業の中で生徒とともに想起し、プレゼンテーションのメモを作り始めました。また、国語科担当教諭との打合せの中で、分かりやすいスピーチを作る上で大切にしたいポイントを聞き、それらを英語の授業にも取り入れました。

＜スピーチを作る上で大切にしたいポイント＞

- ① 一番伝えたいことを位置付ける場面を工夫する
- ② 一番伝えたいことについて重点的に語る
- ③ 自分の体験談などを含めるようにする



英語でのプレゼンテーションに備えたメモ作りでは、自分が一番伝えたい情報とそれを支える根拠やデータを示し、自分の思いや経験を含めることを大切にしました。生徒は、ウェビングなどでイメージを膨らませ、はじめに一番伝えたい情報についてのキーワードを書きました。その上で、その情報に関連する語句を短冊に書き、自分が伝えたいことが伝わるように短冊を並べ替えたり、更に新しい語句を付け足したりしながら、メモ作りを進めました。

ここで英文を一文ずつ短冊に書くことは、英文構成を考えたりする上でのメモとして書くものとし、これを見ながらプレゼンテーションをするわけではないことを事前に生徒と確認しておきました。



ここがポイント！

- メモ作りの際に短冊を用意し、生徒には一つの情報ずつ短冊に書くように指示します。
- そうすることで、後で文と文のつながりを考えたり、情報を付け加えたり削除したりすることが容易になります。

- Iさんは、“What school event do you like the best?” についてのプレゼンテーションを作る際に、一番伝えたいことを「自分の予想と違う行事が一番人気だったことに驚いたこと」にしたいと考えました。

クラス全員にアンケートを実施し、それをグラフにして説明しました。その結果が自分の予想と違っていたことを伝えるために、発表の始めに自分の予想を盛り込み、その上でアンケート結果を提示し、考察をしました。また、体験談を含めた方が良いとの観点から、自分がその行事に参加したときの感想を含めました。

<Iさんの発表>

…I asked 35 students of my class about this question. First, I expected like this. Please look at the screen.

In my expectation, the class match is the most popular school event. ①But! As a result shows in the chart. Twenty of my classmates like the school festival the best! I asked the reason. ②They think that all the students can enjoy the festival. I agree with it. ③When I joined the school festival, there were a lot of interesting shops and class decorations. So I enjoyed very much.…Every event is fun and important for us. I'm looking forward to all school events.



Iさんは、このプレゼンテーションをするにあたり友達にアンケートを行ったことを述べ、その前に自分で予想した人気のある行事について話しました。

しかし、実際にアンケートを行ってみると、友達への回答は予想とは違ったことに驚き、「自分の予想と人気の行事は違ったこと」を一番伝えたいことにしようと考え、スライドを作成した上で、説明しました(①下線部)。これは国語の授業で学習した、“一番伝えたいことを位置付ける場面を工夫する”を考えることにつながり、Iさんはプレゼンテーションの冒頭で伝えることが効果的と考えました。

続いて、同じく国語の授業で習った“一番伝えたいことを重点的に伝える”ことを念頭に、友達がなぜその行事を最も楽しいと感じたかの理由を含めることとしました。理由についてはスライドの中に記さず、自分自身の言葉で伝えました。その中でIさんは、自分の立場を明らかにしたり、詳しく説明を加えたりし、自分の予想とは違っていたことを強調しました(②下線部)。

さらに、友達へのアンケートの結果、最も人気の高かった文化祭について、“自分の体験談などを含めるようにする”ことを考えたIさんは、自分が文化祭に参加し

実際にIさんが作成したスライド



《My expectation》

1 Classmatch

2 School Festival

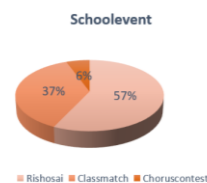
3 Chorus contest

《Result》

1 School Festival ...20

2 Classmatch ...13

3 Chorus contest ...2



たときに感じたことやたくさんの店や装飾があって楽しめたことを、実体験として加えました(③下線部)。

- 生徒は、毎日様々な教科学習を行っています。その中で、英語の場合、生徒の思考力と英語運用能力に大きな隔たりがあることが多々あります。そのため教師は、生徒がそれまでに学習した範囲内で表現できる活動を設定してしまう傾向にあるように感じます。

しかし、活動を行っていく中で生徒は必ず願いをもち、自分自身の言葉で伝えたいことを表現しようと努力をします。自分の伝えたいことや自分の願いを実現するためにどのような英語表現が必要で、どのように調べ学習をすればそれが達成できるかを考えられるような単元にすることで、生徒が主体的に学習に取り組み、達成感も感じられるのではないのでしょうか。

プレゼンテーションは、「相手に向けて自分の伝えたいことをアピールする」ことが目的の活動ですので、国語で学習する内容“スピーチをする”ことと大きな繋がりをもたせることができます。また、国語だけに限らず、論理的に説明する数学の考え方や、実際の調査から自分の主張を裏付ける探究の観点からも、幅広く他の教科と関連させることのできる活動であると考えます。



ここがポイント！

何を一番伝えたいと願い、それを相手に分かりやすく伝えるためにはどうすればよいかを生徒と考えましょう。

まとめ

国語のスピーチでの学びを英語の活動に活用することで、生徒は自然と文の相互関係を考えたり、文章構成の特徴を意識したりして、一貫性のある内容を表現することができました。英文の正しさではなく「自分の考えや願いをどう伝えていくか」を生徒が意識できるようになりました。